

# I 花実の森のササユリ 種植えからの“里親育苗”を試行



毎年6月になれば清楚な花を咲かせ楽しめてくれる“花実の森”的ササユリたち。里山整備のみなさんが継続して下草や根籠刈りをして守っていますが、最近は盗掘による減少傾向に。

**盗掘は悲しいです！**



そこで、今花実の森にたくさん自生しているササユリを絶やさないように、少しでも増えていくようにとの思いから、花実の森の中に育苗ポットに種をまき、林内に設置してみましたが、活動日以外の世話がゆき届かず、特に夏季の水不足などから枯渇してしまう状況を繰り返していました。

そこで、苦肉の策として2019年6月の開花の内、11月末に3個の種穂を採種、自宅での“里親育苗”にトライしてきました。ここでその経過観察の状況をまとめてみました。今後の参考になれば幸いです。

## ◎ 今まで現地“花実の森”内で実施してきた育苗活動の方法



← 種の採取  
中の種が十分熟したもの  
を採取  
→ 種まき  
現地の腐葉土に鹿沼土  
を加え育苗ポットに2~3  
粒ずつ植えていく



腐葉土・鹿沼土・赤玉土などの混合具合を示した名札を付けて生育具合を観察。



花実の森内 半日陰の場所に置き育苗観察開始。結果的には、3年目の春に発芽してきたものの、夏の水やり不足、日照過多、雑草の繁茂などによりほぼ全滅。残念！



◎花実の森内での育苗はあきらめ、2019年12月から“里親育苗”として自宅での育苗を試行  
＝＝今回は4年後の2023年11月の里帰り苗に育つことをめざす＝＝

### 【種の確保と植え付け】

2019年11月末に種の穂3個を採種し、12月初旬にポットに種の植え付けを完了。  
発芽までには、ひと冬・ひと夏の中生育を必要とするため、発芽が期待できるのは、15か月後の2021年3月頃の予定。その間も適度な水やりと、半日陰など置き場所の移動に気を配り、発芽に向けての球根生育に期待します。



### 2019年11月 種の確保

ひとつの花からはびっしり詰まった種が入っており、その数約1,000粒以上はあるかな？



### 種まき

ここでも腐葉土、鹿沼土、赤玉土などを混合した土をポットに入れて種まきを完了。

ポットの数 = 65個

植えた種の数 =  $65 \times 3 \sim 4$ 粒 ≈ 250



【樹木下など半日陰に置き生育観察開始】  
【2019年12月から15か月(3年目)を経て発芽した後の生育管理】

【2021年3月(15か月経過)発芽に成功】



当然ながらどの  
発芽も1枚葉  
状態。

15か月を経た2021年3月、待ちに待った【発芽】に“待ってたよ”と歓迎。  
(発芽率=1ポットに1~2本の発芽で約50%) 自然界での発芽率数%に比べてダン  
トツに高い率 やはり人の管理の手が届くと育ちも良いということかな)  
その後も適度な水やりと、木陰など日照場所を考えながら「なるべく自然な環境生育」を  
目指すことに。

【2022年5月~8月(種植えから2.7年=33か月経過】



この頃から少しづつ成長にも個体差が表れ始める。早いものは茎をもち、葉も2, 3枚つけて育ってき  
ます。

## 【2022年11月(種植えから丸3年 球根の植替え】

種を植えてから3年（36ヶ月）が経過し、球根もそれなりに育っているものと判断、今後の球根の生育を考え植替えをすることを決断。種植え後初めて球根を掘り出してみました。



植替え前の様子  
球根を残し、葉は枯れ落ちた状態



掘り出した球根は土を落として水洗い後しっかり消毒  
3cm球=3個 2cm球=15個 1cm球=30個  
1cm以下球≈50個



3cm球=3個の鉢に1個ずつ



2cm球=16個のポットに1個ずつ



1cm球=16個のポットに  
2個ずつ



5mm以下球=ばら植え

さあ 来年の春にはどんな姿で芽生えてくれるかな？

【2023年4月 5年目の生育状況】球根を植え替えて最初の春



しっかりと全数が芽を出してくれました。ただし、生育の度合いはかなり差があり、まだ一枚葉のものから茎を伸ばし葉を3~4枚付けたものが多くあります。



5年目だというのに今年もまだ一枚葉のままの株もあります。



いちばん成長の良いものはつぼみをつけている株が2本あるのには驚きました。

その2本も6月2日に1輪開花、6月6日にもう1輪開花。感激の対面です。来年は30~40輪が期待できそうなので、今年の11月に故郷の花実の森に里帰りの植替えを予定しております。

元気に育て里子のササユリたち。